

# 2022 年度 一般社団法人大阪府臨床工学技士会 定時社員総会議案書

日 時； 2022 年 6 月 5 日(日) 午後 1 時 15 分より

会 場； エル・おおさか（大阪府立労働センター）606 号室  
（〒540-0031 大阪市中央区北浜東 3-14）

## 式次第

1. 開会の辞
2. 議長団選出
3. 議事録署名人選出
4. 総会成立宣言
5. 審議事項
  - 第 1 号議案 2021 年度事業活動報告
  - 第 2 号議案 2021 年度収支決算報告
  - 第 3 号議案 定款・規則変更の件
  - 第 4 号議案 第 8 期役員改選の件
6. 報告事項
  - 1) 2020 年度～2025 年度中期事業計画
  - 2) 2022 年度事業活動方針
  - 3) 2022 年度収支予算
  - 4) 第 3 期代議員改選の件
7. 議長団解任
8. 閉会の辞

## 審議事項

### 第1号議案 2021年度事業活動報告

① 2021 年度一般社団法人大阪府臨床工学技士会定時社員総会  
会期；2021 年 6 月 19 日（土）

②第 27 回近畿臨床工学会開催

開催日時：ライブ配信 2021 年 9 月 25 日（土）、26 日（日）

オンデマンド配信 2021 年 10 月 1 日（金）～11 月 30 日（火）

開催場所：オンライン開催

テーマ：『挑戦！』

学会長：村中 秀樹（阪南市民病院 管理部）

実行委員長：小北 克也（仁真会白鷺病院）

事務局：国立大学法人大阪大学医学部附属病院 臨床工学部内  
一般社団法人大阪府臨床工学技士会事務局

参加人数：544 名（会員 460 名、一般 84 名）

参加費：会員：3,000 円、非会員：3,000 円、学生：無料（所属教育機関からの申込のみ）

主催：近畿臨床工学技士会連絡協議会

共催：一般社団法人大阪府臨床工学技士会（主管）、一般社団法人京都府臨床工学技士会、  
一般社団法人滋賀県臨床工学技士会、一般社団法人兵庫県臨床工学技士会、一般  
社団法人和歌山県臨床工学技士会、大阪大学医学部附属病院〔順不同〕

後援：大阪府、一般社団法人大阪府医師会、一般社団法人大阪府歯科医師会、公益社団  
法人大阪府看護協会、一般社団法人大阪府薬剤師会、公益社団法人大阪府診療放  
射線技師会、公益社団法人大阪府臨床検査技師会、公益社団法人大阪府理学療法  
士会、一般社団法人大阪府作業療法士会、公益社団法人大阪府栄養士会、一般社  
団法人大阪府病院薬剤師会、一般社団法人大阪府私立病院協会、公益社団法人日  
本臨床工学技士会〔順不同〕

実施内容：特別講演、シンポジウム、学術共催セミナー、一般演題

①特別講演1 9月25日（土） 14：20～15：20 第1会場

『医師の働き方改革に伴う法令改正によるタスク・シフト/シェアを推進する業務にかかる  
告示研修について』

講師 本間 崇（公益社団法人日本臨床工学技士会 理事長）

司会 村中 秀樹（阪南市民病院 管理部）

②特別講演2 9月26日（日） 10：30～11：30 第1会場

『医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアにおける臨床工学技士の関わり  
と未来展望』

講師 自見 はなこ（参議院議員, 医師, 前厚生労働政務官, 臨床工学技士の資質向上を求め  
る議員連盟 事務局長）

司会 山崎 康祥（藍野大学 医療保健学部 臨床工学科）

③特別講演3 9月26日（日） 13：10～14：10 第2会場

『臨床工学技士が知っておくべき新型コロナウイルス感染症に対する知識 ～今日までの  
取り組みと今後の展望～』

講師 森井 大一（日本医師会総合政策研究機構）

司会 小北 克也 (仁真会白鷺病院 臨床工学科)

- ④シンポジウム1 9月25日(土) 12:30~14:00 第1会場  
『新たなる業務への挑戦 ~先人はどのように業務を確立してきたのか~』  
座長 杉浦 正人 (関西医科大学香里病院 医用工学室)  
藤本 義造 (奈良県総合医療センター 臨床工学部)  
SY1-1 成熟期における新たなる業務への挑戦 ~気管支鏡業務の確立~  
井口 新一 (医仁会武田総合病院 臨床工学科)  
SY1-2 若手臨床工学技士の新しい挑戦 ~臨床工学技士のいない病院での勤務を始めて~  
山口 倫也 (海南医療センター 看護部)  
SY1-3 業務立ち上げからさらなる挑戦  
加藤 博史 (神戸大学医学部附属病院 臨床工学部, 神戸大学未来医工学研究開発センター  
周辺機器開発部門)  
SY1-4 黎明期の自身の葛藤、挑戦、そして期待  
八木 克史 (京都府立公立大学法人 京都府立医科大学付属病院 がんゲノム医療センター)
- ⑤シンポジウム2 9月25日(土) 15:30~17:00 第1会場  
『次世代の臨床工学技士を創造する ~医療法改正による養成校・臨床現場での教育の  
在り方を考える~』  
座長 伊東 朋子 (大阪医専 教務部 臨床工学学科)  
宇座 英慈 (大阪国際がんセンター 臨床工学技士室)  
SY2-1 臨床工学技士養成施設カリキュラム改定の概要  
田中 智之 (滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科)  
SY2-2 麻酔補助業務の現状と展望  
小西 康司 (奈良県立医科大学附属病院 医療技術センター)  
SY2-3 心臓カテーテル領域におけるタスクシフトと教育について  
木田 博太 (大阪急性期・総合医療センター 臨床工学室)  
SY2-4 鏡視下手術支援業務のこれまでの歩みと臨床教育  
北本 憲永 (聖隷浜松病院 臨床工学室)  
SY2-5 養成校カリキュラムマネジメント~本学でのカテーテル業務関連に対する教育  
大久保 さやか (森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床工学科)
- ⑥シンポジウム3 9月25日(土) 12:30~14:00 第2会場  
『コロナ禍における臨床工学技士に求められる呼吸療法の知恵と技 ~重症度分類別施設に  
おけるCEの役割~』  
座長 恩地 隆 (社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会 富田林病院医療機器管理室)  
吉田 幸太郎 (大阪大学医学部附属病院 臨床工学部)  
演者 中村 有希 (大阪大学医学部附属病院 臨床工学部)  
上野山 充 (大阪府急性期・総合医療センター 医療技術部 臨床工学室)  
大野 進 (滋賀県立総合病院・滋賀県立小児保健医療センター 臨床工学部)  
藤田 和睦 (医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院 QIセンター兼臨床工学科)
- ⑦シンポジウム4 9月25日(土) 12:30~14:00 第3会場  
『可能性を広げる透析治療』  
座長 熊山 義久 (大阪医専)  
福井 隆一 (昭生病院)  
SY4-1 全部見せます! オーバーナイト透析  
茂原 仁 (堀江やまびこ診療所)  
SY4-2 腹膜透析への臨床工学技士の関わり ~腹膜透析導入からトータルケアを目指す~

田中 航太（京都山城総合医療センター）  
SY4-3 在宅血液透析の可能性 ～現状に鑑みる今後の展望～  
中澤 弘貴（医療法人社団 富田クリニック）

⑧シンポジウム5 9月26日（日） 9：15～10：15 第1会場  
『アブレーション治療の時に臨床工学技士に求めること』  
座長 前川 正樹（おもと会 大浜第一病院 臨床工学部）  
松本 景史（JCHO 大阪病院 臨床工学室）  
演者 井上 耕一（独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 循環器内科・不整脈センター）

⑨シンポジウム6 9月26日（日） 13：10～14：40 第2会場  
『コロナ禍におけるワークライフバランス ～それぞれの立場から～』  
座長 杉原 尚枝（社会医療法人彩樹 豊中敬仁会病院）  
酒井 徳昭（京都第二赤十字病院 臨床工学課）  
SY6-1 コロナ禍に立ち向かうWLBの工夫  
太田 雅文（宇治徳洲会病院 臨床工学科）  
SY6-2 新型コロナウイルスとワークライフバランス ～重症者受け入れ施設のCEとして～  
広瀬 元（地方独立行政法人 市立大津市民病院 臨床工学部）  
SY6-3 コロナ禍におけるワークライフバランス ～中堅技士の立場から～  
築山 隆仁（社会医療法人弘道会 守口生野記念病院 臨床工学科）  
SY6-4 コロナと子供たちとの付き合いかた  
今井 美穂（三菱京都病院 診療技術部 臨床工学科）

⑩シンポジウム7 9月26日（日） 9：30～11：00 第2会場  
『臨床工学技士としての挑戦！職域拡大に貢献しているパイオニアに学ぶ』  
座長 岡田 未奈（済生会西条病院, 京都芸術大学大学院 芸術研究科）  
定 亮志（大阪市立大学医学部附属病院, 大阪市立大学大学院 医学研究科）  
SY7-1 起業への挑戦 ～CEが作る医療機器の可能性～  
木戸 悠人（株式会社 iDevice, 大阪府結核予防会 大阪複十字病院）  
SY7-2 YOUは何しにベンチャーへ？ ～私の仕事お教えします～  
大谷 直哉（株式会社 T-ICU）  
SY7-3 フリーランス臨床工学技士の挑戦 ～現実と将来性～  
大石 杏衣 (Kiwi)  
SY7-4 社会課題を解決するための法人化においてNPOを選択した理由  
西垣 孝行（森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床工学科, NPO まもるをまもる）  
SY7-5 VR×リハビリテーション ～オンラインサポートへの適応と実際～  
國師 美里（株式会社 mediVR VR事業部 品質/製造管理部門）  
SY7-6 働きながら医療機器開発の実現を目指す ～バイオデザインフェローを経験して～  
吉田 幸太郎（大阪大学医学部附属病院）

⑪学術共催セミナー1 9月26日（日） 11：45～12：15 第1会場  
共催 ニプロ株式会社  
『無線を活用したポンプ管理はどこまで業務の効率化と安全安心につながるか？ ～IT化による働き方改革～』 ライブ配信のみ  
講師 宮川 浩之（日本赤十字社医療センター 臨床工学技術課）  
司会 中村 一貴（和歌山県立医科大学附属病院 臨床工学センター）

⑫学術共催セミナー2 9月26日（日） 12：25～12：55 第1会場

共催 扶桑薬品工業株式会社  
『新しい透析液組成への期待』  
講師 高田 茂和 (特定医療法人仁真会 白鷺病院 医療技術部 臨床工学科)  
司会 松井 智博 (医療法人錦秀会 阪和記念病院 臨床工学科)

⑬学術共催セミナー3 9月26日(日) 11:55~12:55 第2会場

共催 日本光電工業株式会社  
『国産人工呼吸器 開発・増産プロジェクト秘話』  
講師 松原 功 (日本光電工業株式会社 技術開発本部 呼吸・麻酔機器部)  
司会 藤江 建朗 (森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床工学科)

⑭学術共催セミナー4 9月26日(日) 12:15~13:15 第3会場

共催 テルモ株式会社  
『輸液ポンプアラームの現状把握』 12:15~12:45 ※ライブ配信のみ  
講師 福田 将誉 (箕面市立病院 臨床工学科)  
司会 佐上 善昭 (大阪赤十字病院 臨床工学課)  
『シリンジポンプと輸液ポンプの運用と今後』 12:45~13:15 ※ライブ配信のみ  
講師 中村 一貴 (和歌山県立医科大学附属病院 臨床工学センター)  
司会 加藤 博史 (神戸大学医学部附属病院 医療技術部)

⑮一般演題 81 演題

<一般演題 呼吸療法 : 5 演題>

01-01 静電式フィルタの疎水性評価方法と製品による優劣の有無に関する検討

\*小澤 一斗、永濱 元統、秦 弘樹、木村 政義  
兵庫医科大学病院 臨床工学科

01-02 陽圧換気データ管理ソフト ResScan™を用いて人工呼吸器離脱評価を行った一例

\*中西 理恵子<sup>1</sup>、寺田 賢二<sup>1</sup>、中井 健仁<sup>2</sup>、豊川 望<sup>2</sup>、土肥 直文<sup>2</sup>

1. 奈良県西和医療センター 臨床工学技術部, 2. 奈良県西和医療センター 循環器内科

01-03 食道挿管を発見できず悔しい思いをした1例

\*清水 一茂、和泉 大輝、井手 理彦、清水 貞則、中野 雄太、長岡 俊治、橋本 武昌、小林 靖雄、中川 達雄

公益財団法人 天理よろづ相談所病院 臨床工学科

01-04 アイノフローDSと麻酔器併用時、インジェクターモジュールとサンプルT字管の間の回路長によるNO濃度検証

\*鷹野 弘典、楠本 奈央、前田 哲男、亀井 理生  
奈良県総合医療センター 臨床工学技術部

01-05 各種自動給水型加温加湿器チャンバーにおける加温効率の検討

\*齋藤 展良<sup>1,2</sup>、木村 政義<sup>2</sup>

1. 大阪滋慶学園 大阪ハイテクノロジー専門学校 臨床工学技士科 夜間3年制, 2. 兵庫医科大学病院 臨床工学科

<一般演題 ME (機器管理) : 6 演題>

02-01 電池交換アラーム低減への取り組み

\*進藤 樹也、大崎 麻優、田摩 恵吾、山口 美優、正木 昭次  
姫路聖マリア病院

02-02 他社セントラルモニタの同フロア使用によるチャンネル混信トラブルを経験して

\*浅香 友希、石川 由希野、加藤 慎章  
社会医療法人弘道会なにわ生野病院臨床工学科

- 02-03 循環器内科病棟移設に伴う医用テレメータシステム再配置を経験して  
\*大東 雅弘<sup>1</sup>、北村 孝一<sup>1</sup>、岩井 智哉<sup>1</sup>、小出 直樹<sup>2</sup>、松尾 光則<sup>1</sup>  
1. 大阪市立大学医学部附属病院 医療機器部, 2. 大阪市立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部
- 02-04 除細動器の定期点検を院内にて臨床工学技士が行った結果、得られた効果  
\*橋本 裕介、吉川 誠人、吉村 豊  
阪奈中央病院 臨床工学室
- 02-05 当院における機器管理への取り組み  
\*木村 賢介、吉田 豊誠、白井 千恵美、河内 義昭、村上 大地、田中 陽一、大上 明彦、田中 朱音、旭 佳奈、北山 伸一  
市立岸和田市民病院
- 02-06 病院経営を考慮した機器選定  
\*小野 達也、野田 辰明、百瀬 裕馬、松代 悠暉、野村 俊介、梶原 直樹  
一般財団法人 芙蓉協会 聖隷沼津病院

<一般演題 血液浄化 ① : 5 演題>

- 03-01 レジオネラ肺炎に対しセブザイリス®を使用した CHDF が有用であった 1 例  
\*徳永 幸子、須川 諒平、足立 明子、光村 勝也、松田 英樹  
社会福祉法人京都社会事業財団 西陣病院 臨床工学科
- 03-02 電界放出型走査電子顕微鏡 (FE-SEM) による新しい血液濾過膜の細孔構造解析  
\*福田 誠<sup>1</sup>、田中 涼<sup>1</sup>、大森 結友<sup>1</sup>、竿本 仁志<sup>2</sup>、森 智博<sup>2</sup>  
1. 近畿大学 生物理工学部 医用工学科, 2. 和歌山県工業技術センター
- 03-03 潰瘍性大腸炎合併妊娠で顆粒球除去療法 (GCAP) を施行した一例  
\*山路 雄太<sup>1</sup>、福田 将誉<sup>1</sup>、井口 基<sup>1</sup>、由良 守<sup>2</sup>  
1. 箕面市立病院 臨床工学科, 2. 箕面市立病院 消化器内科
- 03-04 腹水濾過濃縮再静注法における副作用 発熱に関する検討  
\*川口 直也、森 諭司、岡本 勇貴、常本 晋平  
大和高田市立病院臨床工学科
- 03-05 アルブミン製剤を用いた単純血漿交換における治療後の Fib 値は予測能か?  
\*太田 雄土、峰松 佑輔、松本 猛志、宇田 大介、井本 隆之、福辺 祥子、楠本 繁崇、南 茂、高階 雅紀  
大阪大学医学部附属病院 臨床工学科

<一般演題 血液浄化 ② : 6 演題>

- 04-01 ESA 管理における業務改善を試みて  
\*松井 雅裕<sup>1</sup>、木村 隆之<sup>1</sup>、松田 英樹<sup>1</sup>、藤原 有希<sup>2</sup>、今田 直樹<sup>3</sup>  
1. 社会福祉法人 京都社会事業財団 西陣病院 医療技術部 臨床工学科, 2. 社会福祉法人 京都社会事業財団 西陣病院 看護部, 3. 社会福祉法人 京都社会事業財団 西陣病院 腎臓・泌尿器科
- 04-02 透析業務でのインシデント対策 ~PDCA サイクルの活用~  
\*松本 拓也、福岡 雅也、中野 史隆  
医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院 臨床工学会
- 04-03 血液透析治療中における血液回路チューブの振動計測  
\*川村 勇樹<sup>1,2</sup>、桑原 健太<sup>2</sup>、池田 拓洋<sup>2</sup>、西手 芳明<sup>1</sup>、山本 衛<sup>1</sup>  
1. 近畿大学 生物理工学部 医用工学科, 2. 医療法人たちばな会 西岡病院
- 04-04 リアル感のある穿刺トレーニング用パッドの開発  
\*河原 柚香<sup>1</sup>、伊藤 彩乃<sup>2</sup>、中村 俊哉<sup>1</sup>、北野 圭佑<sup>3</sup>、岡田 賢太郎<sup>4</sup>、小林 謙太郎<sup>5</sup>、棚橋 一将<sup>6</sup>、福島 良太<sup>6</sup>、的場 敬司<sup>7</sup>、西手 芳明<sup>1</sup>  
1. 近畿大学 生物理工学部医用工学科, 2. 国立病院機構大阪医療センター 臨床工学技

士部門, 3. 湯山製作所 開発部, 4. (株)エスエスサポート, 5. 星丘医療センター臨床工学技士, 6. (株)タナック営業開発部, 7. (株)朝日ラバー医療ライフサイエンス営業推進部  
04-05 血液透析治療における装置の操作およびトラブル対処トレーニングシステムの開発

\*鐘ヶ江 勇祐<sup>1</sup>、松山 紗千<sup>2</sup>、安田 怜那<sup>3</sup>、柿花 圭太<sup>4</sup>、甲田 梨乃<sup>5</sup>、穴手 晴香<sup>6</sup>、田麿 幸樹<sup>7</sup>、田坂 雪菜<sup>8</sup>、大谷 彩香<sup>9</sup>、西手 芳明<sup>1</sup>

1. 近畿大学生物理工学部医用工学科, 2. 紀南病院臨床工学科, 3. 宇治徳洲会病院臨床工学科, 4. 関西医科大学付属病院臨床工学センター, 5. 西和医療センター臨床工学技術部, 6. 飯塚病院臨床工学部, 7. 大阪大学医学部付属病院臨床工学部門, 8. 近畿大学病院臨床工学部, 9. 那賀病院臨床工学科

04-06 眼球運動測定システムを用いた透析装置操作におけるトラブル対応の比較検討  
-操作技術の向上を目指して-

\*川本 彩乃<sup>1</sup>、大條 由貴<sup>1</sup>、松村 大輔<sup>3</sup>、福田 麻衣<sup>2</sup>、足立 道伸<sup>4</sup>、桂尾 瑞希<sup>5</sup>、西手 芳明<sup>1</sup>

1. 近畿大学生物理工学部医用工学科, 2. 西宮渡辺心臓血管センター臨床工学部, 3. 吉江医院臨床工学部, 4. 姫路赤十字病院臨床工学技術課, 5. 近畿大学病院臨床工学部

<一般演題 循環器 ① : 6演題>

05-01 ヘパリン抵抗性患者に対する体外循環の経験

\*楓井 翔己、亀井 理生、木村 優友、崎 健祐、桑原 大輝  
奈良県総合医療センター 臨床工学技術部

05-02 suction リザーバー付き central ECMO を使用した1症例

\*東 徹、今村 亮太、橋本 裕貴、山本 和輝、井ノ上 哲智、三浦 晃裕、小西 康司  
奈良県立医科大学附属病院 医療技術センター

05-03 日本国内未承認のペースメーカー装着患者の対応について苦慮した一例

\*吉川 誠人<sup>1</sup>、吉村 豊<sup>1</sup>、樋口 貴文<sup>2</sup>、森下 真次<sup>3</sup>

1. 阪奈中央病院 臨床工学室, 2. 阪奈中央病院 循環器内科, 3. 阪奈中央病院 脳神経内科

05-04 入院中に突然のRV 閾値上昇によるペーシング不全をきたした1例

\*宮本 賢昌、中西 理恵子、布元 孝典、寺田 賢二  
奈良県西和医療センター 臨床工学技術部

05-05 S-ICD 早期電池消耗の実臨床での電池残量の変化を遠隔モニタリングシステムにより確認・早期介入出来た1症例

\*松本 佳子<sup>1</sup>、三浦 晃裕<sup>1</sup>、小西 康司<sup>1</sup>、芥子 文香<sup>2</sup>、西田 卓<sup>2</sup>

1. 奈良県立医科大学附属病院 医療技術センター, 2. 奈良県立医科大学附属病院 循環器内科

05-06 PM 植込み患者の PAF に対してクライオバルーンアブレーション施行後、心房閾値が一過性に上昇した一例

\*兼嶋 りな、亀山 正弥、清水 一茂、清水 貞則、長岡 俊治、長岡 真理子、中野 雄太、林 達也、小林 靖雄、中川 達雄

公益財団法人 天理よろづ相談所病院 臨床工学部

<一般演題 循環器 ② : 7演題>

06-01 当センターでの OCT guided PCI における造影剤使用量推移と臨床工学技士としての関わり

\*桑原 大輝、松田 翔希、多田 智基、崎 健祐、亀井 理生  
奈良県総合医療センター 臨床工学技術部

06-02 ロータブレード-PROTM 使用中、急激な回転数の上昇を経験して

\*三浦 翼<sup>1</sup>、孫野 茂樹<sup>1</sup>、松尾 光則<sup>1</sup>、中尾 一浩<sup>2</sup>、山崎 貴紀<sup>3</sup>

1. 大阪市立大学医学部附属病院 医療機器部, 2. 大阪市立大学医学部附属病院 循環器内

科, 3. 大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学

06-03 高度石灰化を伴う大腿膝窩動脈病変に対してPave&crack法でViabahnステントグラフトを留置してステントグラフトが破損した一症例

\*宮口 晴菜、倉田 直哉、澄川 隆、大山 浩樹、伊藤 主峻、片桐 悠介、南里 耕平、久保田 慎一

関西労災病院 臨床工学室

06-04 大腿膝窩動脈ステント内再狭窄および再閉塞病変に対してLASER atherectomyを施行し末梢塞栓を来たした症例と予防できた症例の検討

\*南里 耕平、倉田 直哉、澄川 隆、大山 浩樹、伊藤 主峻、片桐 悠介、宮口 晴菜、久保田 慎一

関西ろうさい病院 臨床工学室

06-05 大腿膝窩動脈病変に対する薬物溶出性バルーン後の残存狭窄に影響する因子の検討

\*伊藤 主峻、澄川 隆、大山 浩樹、片桐 悠介、宮口 晴菜、南里 耕平、倉田 直哉

関西労災病院 臨床工学室

06-06 石灰化結節を合併した大腿膝窩動脈病変に対する薬物溶出性バルーン後の再狭窄率および臨床学的特徴の検討

\*片桐 悠介、澄川 隆、大山 浩樹、伊藤 主峻、宮口 晴菜、南里 耕平、倉田 直哉

関西ろうさい病院

06-07 大腿膝窩動脈病変に対する至適薬物溶出性バルーン径の基準となる指標の検討

\*倉田 直哉、澄川 隆、大山 浩樹、伊藤 主峻、片桐 悠介、南里 耕平、宮口 晴菜

関西ろうさい病院 臨床工学室

<一般演題 COVID-19 ① : 5演題>

09-01 日臨工におけるCOVID-19の対応

\*田村 守啓

公益社団法人 日本臨床工学技士会

09-02 (公社)日本臨床工学技士会 調査・統計委員会 -2020年度COVID-19調査結果報告「近畿ブロック編」-

\*杉浦 正人<sup>1</sup>、2、内田 隆央<sup>2</sup>、後藤 武<sup>2</sup>、丹木 義和<sup>2</sup>、塚野 雅幸<sup>2</sup>、久行 菜帆<sup>2</sup>、南 彩<sup>2</sup>、石井 宣大<sup>2</sup>、五十嵐 茂幸<sup>2</sup>

1. 関西医科大学香里病院, 2. (公社)日本臨床工学技士会 調査・統計委員会

09-03 当院におけるCovid19陽性透析患者の対応

\*塩竈 和也

社会医療法人 生長会 府中病院 臨床工学室

09-04 当院における血液透析患者のCOVID-19に対する治療成績と患者背景に関する検討

\*大谷 旨輝<sup>1</sup>、中村 亮太<sup>1</sup>、小西 一樹<sup>1</sup>、木田 博太<sup>1</sup>、中村 年宏<sup>1</sup>、上野山 充<sup>1</sup>、岩田 幸真<sup>2</sup>、上田 仁康<sup>2</sup>

1. 大阪急性期・総合医療センター 臨床工学室, 2. 大阪急性期・総合医療センター 腎臓・高血圧内科

09-05 透析センターでのCOVID-19陽性患者の血液透析運用マニュアルを作成して

\*福川 佳奈<sup>1</sup>、高瀬 博章<sup>1</sup>、高鷲 智美<sup>2</sup>、松村 貴裕<sup>1</sup>

1. 医療法人徳洲会 吹田徳洲会病院 臨床工学室, 2. 医療法人徳洲会 吹田徳洲会病院 感染対策部門

<一般演題 COVID-19 ② : 5演題>

10-01 ネーザルハイフロー使用患者の転院搬送の経験

\*長岡 俊治、外嶋 彩香、清水 一茂、橋本 武昌、小林 靖雄



公益財団法人 天理よろづ相談所病院 臨床工学部

10-02 コロナ禍における当院の ECPR の現状

\*秋山 晃亮

京都岡本記念病院

10-03 当院における COVID-19 に対する CE の関わり

\*岸 千晴<sup>1</sup>、岩下 裕一<sup>1</sup>、菱矢 直邦<sup>2</sup>

1. 市立奈良病院 臨床工学室, 2. 市立奈良病院 感染制御内科

10-04 当センターにおける COVID-19 に対する臨床工学技士の取り組み

\*中村 亮太、橋 健太郎、小西 一樹、米野 優美、森本 良平、菊池 佳峰、砂原 翔吾、木田 博太、中村 年宏、上野山 充

大阪急性期・総合医療センター 臨床工学室

10-05 ECMO ガス交換膜の精緻な細孔構造解析と SARS-CoV-2 漏出リスクの解明

\*定野 和憲<sup>1</sup>、福田 誠<sup>1</sup>、古谷 知也<sup>1</sup>、竿本 仁志<sup>2</sup>、酒井 清孝<sup>3</sup>、森 智博<sup>2</sup>

1. 近畿大学 生物理工学部 医用工学科, 2. 和歌山県工業技術センター, 3. 早稲田大学

<一般演題 教育 : 6 演題>

07-01 Zoom®を使用したオンライン形式によるメーカー機器メンテナンス講習会の経験

\*三浦 巧<sup>1</sup>、2、大畑 雄咲<sup>1, 2</sup>、棕本 匡俊<sup>1, 2</sup>、玉垣 伸二<sup>1, 2, 3</sup>

1. 医療法人 警和会 第二大阪警察病院, 2. 臨床工学科, 3. 麻酔科

07-02 REDCap システムを用いた医療機器の Web 研修実施について

\*北村 孝一<sup>1</sup>、岩井 智哉<sup>1</sup>、小出 直樹<sup>2</sup>、定 亮志<sup>1, 3</sup>、松尾 光則<sup>1</sup>

1. 大阪市立大学医学部附属病院 医療機器部, 2. 大阪市立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部, 3. 大阪市立大学医学部附属病院 中央手術部

07-03 ラダー教育研修と臨床工学技士の関わり

\*田邊 伸明

社会医療法人 誠光会 草津総合病院

07-04 グループ病院での新入職者合同研修を行って

\*松本 拓也<sup>1</sup>、河村 誠司<sup>2</sup>、吉見 隆司<sup>3</sup>、山野辺 基<sup>4</sup>、石飛 有基<sup>5</sup>、松村 貴裕<sup>6</sup>、由良 卓也<sup>7</sup>

1. 医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院 臨床工学科, 2. 医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 臨床工学室, 3. 医療法人徳洲会 松原徳洲会病院 臨床工学科, 4. 医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院 臨床工学科, 5. 医療法人沖繩徳洲会 出雲徳洲会病院 臨床工学科, 6. 医療法人沖繩徳洲会 吹田徳洲会病院 臨床工学室, 7. 医療法人徳洲会 和泉市立総合医療センター 臨床工学科

07-05 アメーバ経営論と臨床工学技士の取り組み

\*廣畑 直実<sup>1</sup>、豊永 晴菜<sup>2</sup>、保井 義也<sup>1</sup>、田邊 伸明<sup>1</sup>、山本 哲也<sup>1</sup>、寺村 聡<sup>1</sup>

1. 草津総合病院, 2. 淡海ふれあい病院

07-06 (公社)日本臨床工学技士会 調査・統計委員会 -2020 年度業務実態調査結果報告「近畿ブロック編」-

\*杉浦 正人<sup>1, 2</sup>、内田 隆央<sup>2</sup>、後藤 武<sup>2</sup>、丹木 義和<sup>2</sup>、塚野 雅幸<sup>2</sup>、久行 菜帆<sup>2</sup>、南 彩<sup>2</sup>、石井 宣大<sup>2</sup>、五十嵐 茂幸<sup>2</sup>

1. 関西医科大学香里病院, 2. (公社)日本臨床工学技士会 調査・統計委員会

<一般演題 循環器 ③ : 4 演題>

08-01 心房頻拍に対して CARTOIII (V7) の Coherent Map および Ripple Map が有用であった一例

\*中出 海基、山田 吉治、信藤 直樹、千原 直己、岡田 優佳、村中 駿介、餅原 一輝、窪田 史子、平井 圭、山本 桂

ベルランド総合病院

- 08-02 高周波通電による完成が困難であった Mitral isthmus line 対して、VOM にエタノールを注入し Mitral isthmus line を完成できた 1 例  
\*伊藤 主峻、澄川 隆、大山 浩樹、片桐 悠介、宮口 晴菜、南里 耕平、倉田 直哉  
関西労災病院 臨床工学室
- 08-03 EnSite<sup>TM</sup>専用体表面電極キット変更を契機に発生した EnSite<sup>TM</sup>システム動作不良について  
\*中西 理恵子<sup>1</sup>、宮本 賢昌<sup>1</sup>、寺田 賢二<sup>1</sup>、阪井 友和<sup>2</sup>  
1. 奈良県西和医療センター 臨床工学技術部, 2. 日本光電工業株式会社関西支社 循環器営業部拠点開発課
- 08-04 不整脈専用室の立ち上げに関して  
\*片桐 悠介、澄川 隆、大山 浩樹、伊藤 主峻、宮口 晴菜、南里 耕平、倉田 直哉  
関西ろうさい病院

<一般演題 手術室 ① : 4 演題>

- 1 1-0 1 RFID タグを用いた肺部分切除における臨床工学技士の役割  
\*鈴江 真美、星原 信行、山東 奈津子、西野 けやき、樋口 浩和、相田 信二  
京都大学医学部附属病院
- 1 1-0 2 整形外科（単科）での臨床工学技士の役割と業務～開院から 3 年を経過して～  
\*藤原 永美莉<sup>1, 2</sup>、足立 亘<sup>1</sup>、藤井 歩美<sup>1</sup>、小川 新太郎<sup>2, 1</sup>  
1. 医療法人清翠会 牧整形外科病院 診療支援部 臨床工学科, 2. 医療法人清翠会 牧病院 診療支援部 臨床工学科
- 1 1-0 3 手術室業務におけるタスクシフト ～当院での臨床工学技士の役割～  
\*黒川 翼、進藤 僚介、細川 さやか、松本 拓也  
医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院 臨床工学科
- 1 1-0 4 臨床工学技士によるスコピスト業務を開始して ～第 2 報～  
\*田麿 恵吾、進藤 樹也、正木 昭次  
社会医療法人財団聖フランシスコ会姫路聖マリア病院

<一般演題 内視鏡 : 5 演題>

- 1 2-0 1 簡易漏水テストを使用した送水タンクのリークチェック  
\*橋本 武昌、二重 実、穂山 有里紗、和泉 大輝、兼嶋 りな、小林 靖雄、中川 達雄  
公益財団法人天理よろづ相談所病院 臨床工学部
- 1 2-0 2 鎮静剤使用における消化器内視鏡検査に求められる安全管理 ～呼吸モニタリングを中心として～  
\*柴森 直也<sup>1</sup>、阿部 真也<sup>1</sup>、野見山 典子<sup>1</sup>、水田 博士<sup>1</sup>、田中 龍馬<sup>1</sup>、小倉 健<sup>2</sup>、竹内 利寿<sup>1</sup>  
1. 大阪医科薬科大学病院 消化器内視鏡センター, 2. 大阪医科薬科大学病院 消化器内科
- 1 2-0 3 臨床工学技士増員による内視鏡業務への影響について  
\*猪飼 哲平  
社会医療法人 誠光会 草津総合病院
- 1 2-0 4 当院における内視鏡 A I 臨床研究への C E の関わり  
\*正木 誠人、中谷 彩、清水 志穂、木村 優太、仲本 健一郎  
医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院
- 1 2-0 5 海外評価機構受審に伴う内視鏡室改修前後の比較・検討報告  
\*中西 孝次  
八尾徳洲会総合病院 臨床工学科

<一般演題 その他 : 5 演題>

- 1 3-0 1 臨床工学技士における離職理由の傾向と求められる職場環境について

\*松村 信之介

医療法人社団 石鎚会 京都田辺中央病院

1 3-0 2 離島医療の問題点

\*梅澤 俊明

喜界徳洲会病院臨床工学科

1 3-0 3 生活空間内における行動パターン解析システムの構築

\*田中 雄大<sup>1</sup>、大畑 優太<sup>1</sup>、中野 翔太<sup>2</sup>、金山 凌<sup>3</sup>、堅元 将己<sup>4</sup>、下峯 永子<sup>5</sup>、池上 咲<sup>1</sup>、西手 芳明<sup>1</sup>

1. 近畿大学生物理工学部医用工学科, 2. 府中病院診療技術部 臨床工学室, 3. 社会医療法人頌徳会日野クリニック 血液浄化室, 4. 日赤和歌山医療センター 臨床工学技術課, 5. 和歌山県立医科大学付属病院 臨床工学センター

1 3-0 4 AI 深層畳み込みオートエンコーダ特微量による頭部 MRA 画像上脳動脈瘤検出法

\*細田 和史<sup>1</sup>、根本 充貴<sup>1</sup>、牛房 和之<sup>2</sup>、山口 明乃<sup>2</sup>、永岡 隆<sup>2</sup>、木村 裕一<sup>2</sup>、林 直人<sup>3</sup>

1. 近畿大学生物理工学部, 2. 近畿大学大学院生物理工学研究科, 3. 東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター

1 3-0 5 FDG-PET 像異常検知に向けた CT 像から FDG-PET 像への AI 画像変換の検討

\*瀬川 新<sup>1</sup>、根本 充貴<sup>1</sup>、甲斐田 勇人<sup>3,4</sup>、山口 明乃<sup>2</sup>、木村 裕一<sup>2</sup>、永岡 隆<sup>2</sup>、山田 誉大<sup>4</sup>、北島 一宏<sup>5</sup>、石井 一成<sup>3,4</sup>

1. 近畿大学生物理工学部, 2. 近畿大学大学院 生物理工学研究科, 3. 近畿大学 医学部 放射線医学教室 放射線診断学部門, 4. 近畿大学高度先端総合医療センター PET 分子イメージング部, 5. 兵庫医科大学 放射線医学講座

<一般演題 手術室 ② : 5 演題>

1 4-0 1 手術支援ロボット増設に伴い曜日別使用枠を再考して

\*定 亮志

大阪市立大学医学部附属病院

1 4-0 2 下顎骨内異物除去におけるナビゲーションシステムの使用経験

\*田中 陽一、村上 大地、大上 明彦、田中 朱音、北山 伸一

市立岸和田市民病院 医療技術局臨床工学科

1 4-0 3 脊椎手術におけるナビゲーションシステム StealthStationS7 と S8 の比較

\*永井 理一、三井 友成

姫路赤十字病院

1 4-0 4 臨床工学技士による脊髄刺激療法導入への介入について

\*井上 貴仁、藤野 公輔、久川 智史、玉元 大輔、半田 浩志、杵本 保

大阪暁明館病院臨床工学科

1 4-0 5 四肢神経障害性疼痛患者に対する脊髄刺激療法(SCS)装置埋込後の疼痛緩和について

\*藤野 公輔、井上 貴仁、溝口 裕隆、久川 智史、玉元 大輔、半田 浩志、杵本 保

大阪暁明館病院 臨床工学科

<一般演題 血液浄化 ③ : 7 演題>

1 5-0 1 血液透析回路凝固にビタミン E 固定化透析膜が有効であった 1 例

\*栗野 真依<sup>1</sup>、梶原 聡司<sup>1</sup>、小西 康司<sup>1</sup>、米田 龍生<sup>2</sup>

1. 奈良県立医科大学附属病院 医療技術センター, 2. 奈良県立医科大学附属病院 透析部

1 5-0 2 人工腎部の移転を経験して

\*新 健太郎、定 亮志、山本 亜依、森本 一弘、高橋 宏弥、安岡 美咲、松尾 光則

大阪市立大学医学部附属病院 医療機器部

1 5-0 3 VA 管理体制の検討 ~情報共有への取り組み~

\*細川 祐郁、川村 竜成、進藤 僚介、松本 拓也

(医) 徳洲会 近江草津徳洲会病院

- 1 5-0 4 血液透析におけるシャント血管の血管抵抗指数が再循環率に与える影響について  
\*梅井 克行

関西電力病院 臨床工学部

- 1 5-0 5 ボタンホール穿刺が困難になる要因について

\*北野 貴大<sup>1</sup>、岡本 寛志<sup>1</sup>、武下 悠<sup>1</sup>、佐伯 結莉愛<sup>1</sup>、小田 安弥莉<sup>1</sup>、木村 優花<sup>1</sup>、西岡 克章<sup>2</sup>

1. 社会医療法人岡本病院 (財団) 京都岡本記念病院 臨床工学科, 2. 社会医療法人岡本病院 (財団) 京都岡本記念病院 腎臓内科

- 1 5-0 6 紫外光吸光度を指標とした高圧蒸気滅菌ダイアライザから溶出する PVP の評価

\*島本 佳昌<sup>1,2</sup>、松下 誠吾<sup>2</sup>、山本 貴敏<sup>2</sup>、海本 浩一<sup>1</sup>

1. 大阪電気通信大学, 2. 山本クリニック

- 1 5-0 7 透析患者の血液データ改善のための時間延長とそれに伴う保険点数の関係性

\*東内 耀平

八尾徳洲会総合病院

⑩協力企業 68 社

### ③ 理事会開催 11 回

- ・ 2021 年 4 月 3 日 2021 年度第 1 回理事会 (Web 会議)
- ・ 2021 年 5 月 15 日 2021 年度第 2 回理事会 (Web 会議)
- ・ 2021 年 6 月 19 日 2021 年度第 3 回理事会 (対面+Web 会議)
- ・ 2021 年 7 月 10 日 2021 年度第 4 回理事会 (Web 会議)
- ・ 2021 年 8 月 14 日 2021 年度第 5 回理事会 (Web 会議)
- ・ 2021 年 9 月 11 日 2021 年度第 6 回理事会 (Web 会議)
- ・ 2021 年 10 月 9 日 2021 年度第 7 回理事会 (Web 会議)
- ・ 2021 年 11 月 13 日 2021 年度第 8 回理事会 (対面)
- ・ 2022 年 1 月 22 日 2021 年度第 9 回理事会 (対面+Web 会議)
- ・ 2022 年 2 月 26 日 2022 年度第 10 回理事会 (Web 会議)
- ・ 2022 年 3 月 26 日 2021 年度第 11 回理事会 (対面+Web 会議)

### ④ 委員会活動

#### (1) 広報 (編集)

- ・ 郵送物発送 (定期 3 回、臨時 1 回)
- ・ 「たより第 44 号」の編集、発行 (2021 年 7 月)
- ・ 「たより第 45 号」の編集、発行 (2021 年 9 月)
- ・ 「たより第 46 号」の編集、発行 (2022 年 1 月)
- ・ 「第 27 回近畿臨床工学会 プログラム集」(2021 年 8 月)

#### (2) 広報 (情報)

- ・ 情報委員会の開催
- ・ パソコンおよび携帯向けのホームページによる情報提供
- ・ オンライン入会・会員情報変更フォーム、会員向けメールマガジン登録フォームの公開
- ・ 一般社団法人大阪府臨床工学技士会の情報開示
- ・ 学術勉強会、セミナー、講習会等の案内
- ・ 求人情報の提供
- ・ 会員向けメールマガジンの配信
- ・ Facebook の公開

- ・ Web サーバー管理およびホームページ脆弱性対応
- ・ 新ホームページの運用
- ・ バナー広告の検討
- ・ 会員管理システム導入の検討

(3) 学術（呼吸、代謝、循環、ME、教育、広報、統括、事務局）

- ・ 学術委員会の開催
- ・ 企画運営、教育

I. 2021 年度一般社団法人大阪府臨床工学技士会基礎教育セミナー

開催日時 : 2021年4月25日（日）10:00～12:00

開催場所 : Web 開催

テーマ : 「これから臨床工学技士として働くための基礎」

開催担当 : 一般社団法人大阪府臨床工学技士会学術委員会教育部門

参加人数 : 79名

参加費 : 無料

実施内容 : ①講演Ⅰ : 「臨床工学技士として勤務する心構え  
～これから臨床工学技士として働く皆さんへのメッセージ～」

講師 : 阪南市民病院 村中 秀樹 先生

②講演Ⅱ : 「新卒者臨床工学技士のための職業倫理

～公正取引委員会の規定を基本とした業者さんとのかかわり方、  
患者さんとのかかわり方～」

講師 : 白鷺病院 小北 克也 先生

③講演Ⅲ : 「ECMOの基礎知識」

講師 : テルモ株式会社 山本 健太郎 先生

共催 : テルモ株式会社

④講演Ⅳ : 「手指消毒についての基礎知識」

講師 : キッコーマンバイオケミファ株式会社 前田 仁 先生

II. 令和3年度一般社団法人大阪府臨床工学技士会第18回血液浄化セミナー

開催日時 : 2021年8月16日（土）～ 9月30日（木）

開催場所 : オンデマンド配信

テーマ : 「原点に立ち返る ～血液浄化の基礎～」

開催担当 : 一般社団法人大阪府臨床工学技士会学術委員会代謝部門

参加人数 : 49名

参加費 : 会員 : 2,000 円、非会員 : 3,000 円、学生 : 500 円

実施内容 : ①講演Ⅰ : 「患者対応」

講師 : 医療法人徳洲会 松原徳洲会病院 山村 智美 先生

②講演Ⅱ : 「歴史」

講師 : 大阪医専 泉 暢英 先生

③講演Ⅲ : 「安全対策」

講師 : 社会医療法人愛仁会 井上病院 榎本 拓 先生

④講演Ⅳ : 「消毒薬」

講師 : 三軒医院 濱本 統久 先生

⑤講演Ⅴ : 「VA」

講師 : 堀江やまびこ診療所 南 伸治 先生

⑥講演Ⅵ : 「ダイアライザ」

講師 : 大阪医専 熊山 義久 先生

⑦講演Ⅶ : 「抗凝固」

- 講師：大阪大学医学部附属病院 井本 隆之 先生
- ⑧講演Ⅷ：「警報」  
講師：医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院 山野 秀仁 先生
- ⑨講演Ⅸ：「定期検査」  
講師：PL 病院 児玉 健一郎 先生
- ⑩講演Ⅹ：「体液」  
講師：医療法人宝持会 池田病院 安田 栄吉 先生
- ⑪講演Ⅺ：「在宅夜間透析」  
講師：堀江やまびこ診療所 濱中 康弘 先生
- ⑫講演Ⅻ：「アフエレス」  
講師：大阪赤十字病院 白井 勇希 先生
- ⑬講演Ⅼ：「急性血液浄化」  
講師：大阪大学医学部附属病院 峰松 佑輔 先生

### Ⅲ. 令和3年度一般社団法人大阪府臨床工学技士会第3回血液浄化Webセミナー

- 開催日時：2021年11月12日（金）18:00～20:00  
開催場所：オンデマンド配信  
テーマ：「進化 ～新たなる臨床工学技士～」  
開催担当：一般社団法人大阪府臨床工学技士会学術委員会代謝部門  
参加人数：18名  
参加費：会員：1,000円、非会員：2,000円  
実施内容：総合司会：学術委員会代謝部門委員 白井 勇希 先生
- ①講演Ⅰ：「透析分野におけるCEタスクシフト ～動脈表在化穿刺と静脈穿刺について～」  
講師：東京女子医科大学病院 臨床工学部 安倍 貴之 先生
- ②講演Ⅱ：「表在化静脈の捉え方」  
講師：医療法人永令会 大川VA透析クリニック 院長 大川 博永 先生
- ③質疑応答・討論会

### Ⅳ. 第9回一般社団法人大阪府臨床工学技士会医療機器安全管理セミナー

- 開催日時：2022年1月15日（土）13:00～17:00  
開催場所：Web開催  
テーマ：「原点回帰 ～医用テレメータのすべて～」  
開催担当：一般社団法人大阪府臨床工学技士会学術委員会ME部門  
参加人数：21名  
参加費：会員：1,000円、非会員：2,000円  
実施内容：①講演Ⅰ：「医用テレメータのトラブル対策 ～手引き改訂版と建築ガイドライン～」  
講師：滋慶医療科学大学大学院 特任教授 加納 隆 先生
- ②講演Ⅱ：「当院における電波環境の現状と課題」  
講師：淀川キリスト教病院 臨床工学課 宮本 哲豪 先生
- ③講演Ⅲ：「医用テレメータのチャンネル管理 ～同一チャンネル誤受信防止機能を用いた試み～」  
講師：大阪医科薬科大学病院 臨床工学室 山口 智 先生
- ④シンポジウム：「生体情報モニタの利点・欠点」  
講師：日本光電工業株式会社  
講師：フクダ電子株式会社  
講師：株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
- ⑤シンポジウムフォーラム

モデレータ：学術委員会ME部門委員 清水 真一 先生

V. 2021年度一般社団法人大阪府臨床工学技士会循環器部門セミナー

- 開催日時：2022年1月22日（土）15:00～17:00  
開催場所：Web 開催  
テーマ：「新型コロナ感染症対策の変遷と展望」  
開催担当：一般社団法人大阪府臨床工学技士会学術委員会循環器部門  
参加人数：11名  
参加費：会員：1,000円、非会員：2,000円、学生：無料  
実施内容：①講演Ⅰ：「当センターのCovid-19 感染症患者に対する臨床工学技士の取り組み～ECMO 治療を中心に～」  
講師：大阪府立急性期総合医療センター 医療技術部臨床工学室 森本 良平 先生  
②講演Ⅱ：「当院でのコロナ患者への感染対策の変遷」  
講師：堺市立総合医療センター 看護師/感染管理認定看護師 藤原 若菜 先生  
③講演Ⅲ：「COVID-19 重症患者の‘最後の砦’体外式膜型人工肺（エクモ）の膜構造とSARS-CoV-2 透過リスクの解明」  
講師：近畿大学 生物理工学部 医用工学科 福田 誠 先生  
④講演Ⅳ：「市中感染におけるCovid-19対応の現状～救急集中治療の視点より～」  
講師：医療法人医誠会 医誠会病院救急医療センター 部長 有元 秀樹 先生  
⑤意見交換会

VI. 2021年度一般社団法人大阪府臨床工学技士会第4回学術教育セミナー

- 開催日時：2022年2月5日（土）19:00～21:30  
開催場所：Web 開催  
テーマ：「学会発表へのすすめ」  
開催担当：一般社団法人大阪府臨床工学技士会学術委員会教育部門  
参加人数：33名  
参加費：会員：1,000円、非会員：2,000円  
実施内容：座長 教育部門委員 布江田 友里 先生  
①講演Ⅰ：「臨床研究をはじめよう」  
講師：大阪急性期・総合医療センター 中村 亮太 先生  
②講演Ⅱ：「学会発表のためのスライド作成の基本」  
講師：滋慶医療科学大学 医療科学部臨床工学科 田中 智之 先生  
③講演Ⅲ：「Webプレゼンのコツ」  
講師：石田プロダクツ合同会社 代表社員 石田 幸広 先生

VII. 第13回一般社団法人大阪府臨床工学技士会呼吸療法セミナー

- 開催日時：2022年3月1日（火）～3月21日（月）23:59  
開催場所：オンデマンド配信  
テーマ：「第13回呼吸療法セミナー」  
開催担当：一般社団法人大阪府臨床工学技士会学術委員会呼吸部門  
参加人数：371名  
参加費：会員：2,000円、非会員：4,000円、学生：2,000円  
実施内容：①講義Ⅰ：「コロナ禍を振り返り、この先の呼吸器感染症パンデミックに備える」  
講師：公立陶生病院 感染症内科主任部長 武藤 義和 先生  
②講義Ⅱ：「NPPVとネーザルハイフロー療法の基礎と工夫」  
講師：滋賀県立総合病院・滋賀県立小児保健医療センター 大野 進 先生  
③講義Ⅲ：「呼吸不全の重症度を把握する基礎知識」

- 講師：大阪大学医学部附属病院 麻酔科 吉田 健史 先生  
④講義Ⅳ：「看護外来での患者ケアの変化について」  
講師：大阪はびきの医療センター 慢性疾患看護専門看護師 竹川 幸恵 先生

VIII. 一般社団法人大阪府臨床工学技士会循環器部門ハンズオンセミナー

※新型コロナウイルス感染拡大による影響のため未開催

- 開催日時：2022年3月12日（土）14:30～16:30  
開催場所：藍野大学 茨木キャンパス D棟1階 D106 実習室  
テーマ：「循環器のハンズオンだらけ」  
開催担当：一般社団法人大阪府臨床工学技士会学術委員会循環部門  
参加人数：0名  
参加費：会員：1,000円、非会員：2,000円  
実施内容：①講義、実習：「ブタ心臓解剖」  
共催：日本光電関西株式会社  
②講義、実習：「PCIシミュレータ」  
共催：テルモ株式会社  
③講義、実習：「Rotablator」  
共催：ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社  
④講義、実習：「DCA」  
共催：ニプロ株式会社  
⑤講義、実習：「Diamond Back」  
共催：メディキット株式会社  
⑥講義、実習：「クライオアブレーション」  
共催：日本メドトロニック株式会社

VI. 第19回一般社団法人大阪府臨床工学技士会血液浄化セミナー

- 開催日時：2022年3月27日（火）12:30～17:00  
開催場所：Web 開催  
テーマ：「次世代へのステップアップ」  
開催担当：一般社団法人大阪府臨床工学技士会学術委員会代謝部門  
参加人数：42名  
参加費：会員：1,000円、非会員：2,000円  
実施内容：①講演Ⅰ-1：「VAセッション：シャントエコー」  
講師：佐藤病院 味田 将佳 先生  
司会：学術委員会代謝部門委員 山野 秀仁 先生、濱本 統久 先生  
②講演Ⅰ-2：「VAセッション：エコー下穿刺」  
講師：桃仁会病院 人見 泰正 先生  
司会：学術委員会代謝部門委員 山野 秀仁 先生、濱本 統久 先生  
③講演Ⅱ：透析療法「オンラインHDFの有用性と最新のヘモダイアフィルターの使用経験」  
講師：宮本クリニック 重松 武史 先生  
司会：学術委員会代謝部門委員 安田 栄吉 先生  
共催：旭化成メディカル株式会社・東レ・メディカル  
④特別講演：特別講演：「血液透析におけるドライウェイト設定の考え方」  
講師：大阪南医療センター 大森 弘基先生  
司会：学術委員会代謝部門委員 山村 智美 先生

X. 一般社団法人大阪府臨床工学技士会ウィークエンドセミナー

- 開催担当：一般社団法人大阪府臨床工学技士会学術委員会



参加費：無料

- ①開催日時：2022年2月19日（土）15:00～17:00  
開催場所：Web開催  
テーマ：「今、知っておきたい！血液粘弾性検査」（学術循環）  
参加人数：80名  
実施内容：①講演：「Quantraとは」  
講師（協賛）：平和物産株式会社 マーケティング部 平尾 重孝 先生  
②講演：「TEG6Sとは」  
講師（協賛）：ヘモネティクスジャパン合同会社 クリニカルセールス&  
アプリケーションスペシャリスト 小林一彦 先生  
③講演：「TEG6Sの臨床での使用経験」  
講師：関西医科大学総合医療センター 臨床工学センター  
山本 菜穂子 先生

- ②開催日時：2022年3月12日（土）20:00～21:00  
開催場所：Web開催  
テーマ：「コロナ補助金の怖～い話」（学術ME）  
参加人数：15名  
実施内容：①講演Ⅰ：「新型コロナウイルス感染症設備整備事業補助金等の概要について」  
講師：学術委員会ME部門委員 清水 真一 先生  
②講演Ⅱ：「当院の現状」  
講師：学術委員会ME部門委員 担当理事 宮本 哲豪 先生  
③ディスカッション

#### (4)総務（財務・税務）

- ・定款、細則、内規の改訂
- ・2021年度定時社員総会運営
- ・公益社団法人化にむけての取り組み（衣目公認会計士事務所 顧問契約）
- ・選挙管理委員会設置
- ・第8期一般社団法人大阪府臨床工学技士会役員選挙運営
- ・第2期一般社団法人大阪府臨床工学技士会代議員選挙運営
- ・第35回日本臨床工学会誘致についての検討
- ・Zoom運用の検討
- ・休会制度の見直し

#### (5)連携推進部（志望者拡大・男女共同参画、災害対策推進・医産連携・ブロック制度準備）

##### ○志望者拡大

- ・志望者拡大委員会の開催
- ・第4回職業体験セミナーの開催  
開催日時：2021年10月24日（日）  
開催場所：いこらも～る泉佐野  
参加人数：274名  
後援：泉佐野市教育委員会、りんくう総合医療センター、泉佐野保健所、  
近畿臨床工学技士会連絡協議会
- ・臨床工学技士職業説明会の開催  
開催日時：2022年2月18日（金） 於：和泉市立信太中学校
- ・養成学校向けの一般社団法人大阪府臨床工学技士会説明会  
開催日時：2022年3月7日（月） 藍野大学（Web開催）

開催日時 : 2022年3月8日(火) 大阪ハイテクノロジー専門学校 (Web開催)  
開催日時 : 2022年3月8日(火) 於: 森ノ宮医療大学  
開催日時 : 2022年3月24日(月) 於: 大阪医専

○男女共同参画

- ・男女共同参画委員会の開催
- ・近畿臨床工学技士連絡協議会男女共同参画会議への参加
- ・2021年度一般社団法人男女共同参画部門セミナー  
開催日時 : 2022年3月5日(土) 13:00~16:00  
開催場所 : Web開催  
テーマ : 「男性の育児休暇取得 ~そうだ!育休とろう!~」  
参加人数 : 16名  
参加費 : 会員:1,000円、非会員:1,500円、学生:500円  
実施内容 : 総合司会 男女共同参画委員 杉原 尚枝 先生  
①講演Ⅰ:「男性の育児休暇を取り巻く制度について」  
講師:社会保険労務士法人イデア 井貫 広樹 先生  
②講演Ⅱ:「男性の育児休暇取得のための体制整備」  
講師:社会医療法人財団大和会 東大和病院 梶原 吉春 先生  
③講演Ⅲ:「育児休暇を取得して」  
講師:三菱京都病院 石田 龍太 先生  
④ディスカッション

○災害対策推進

- ・災害対策推進委員会の開催
- ・災害対策 Web セミナー  
開催日時 : 2022年3月10日(木) 18:00~19:30  
開催場所 : Web開催  
テーマ : 「多様化する災害に備えて」  
参加人数 : 26名  
参加費 : 会員:500円、非会員:800円、学生:無料  
実施内容 : 総合司会:災害対策推進委員 じょうこうクリニック 東下 裕保 先生  
①講演Ⅰ:「水道管崩落による断水から復旧までの当院の対応」  
講師:河西田村病院 透析室 辻 篤広 先生  
②講演Ⅱ:「大阪府保健医療調整本部 透析リエゾン」の役割」  
講師:りんくう総合医療センター 臨床工学科 奥田 重之 先生  
③ブレイクアウトルーム

○医産連携

- ・医産連携委員会の開催
- ・第6回未来戦略セミナー  
開催日時 : 2021年7月2日(金) 19:30~21:30  
開催場所 : Web開催  
テーマ : 「病児保育支援システム「あずかるこちゃん」の開発」  
参加人数 : 53名  
参加費 : 会員:500円、非会員:1,000円、学生:無料  
実施内容 : ①講演「病児保育支援システム「あずかるこちゃん」の開発」  
講師:Connected Industries 株式会社 代表取締役 園田 正樹 先生  
進行:医産連携委員 西垣 孝行 先生  
②意見交換会

・第7回未来戦略セミナー

- 開催日時 : 2022年1月13日(木) 19:00~21:00  
開催場所 : Web開催  
テーマ : 「医療ベンチャーから今後の臨床工学技士分布についてヒントを学ぶ！」  
参加人数 : 26名  
参加費 : 会員:500円、非会員:800円、学生:無料  
実施内容 : ①講演「医療ベンチャーから今後の臨床工学技士分布についてヒントを学ぶ！」  
講師:株式会社Medii 代表取締役医師 山田 裕揮 先生  
②テーブルディスカッション(ブレイクアウトルーム)

・2021年度医工連携基礎セミナー

- 開催日時 : 2022年3月23日(水)  
開催場所 : Web開催  
テーマ : 「臨床工学技士のためのお金の話」  
参加人数 : 58名  
参加費 : 会員:500円、非会員:800円、学生:無料  
実施内容 : ①講演I「資産形成は考え方が9割!臨床工学技士のためのお金の講義」  
講師:CE兼ファイナンシャルプランナー 松本 晋太郎 先生  
②講演「税理士から見た臨床工学技士の資産活用方法」  
講師:CE兼税理士 臼井 雄志 先生  
③アンケート  
④アウトプット

○ブロック制度準備

- ・ブロック制度準備委員会の開催  
・第1回リーダー会議

- 開催日時 : 2021年10月23日(土) 19:30~20:00  
開催場所 : Web開催  
テーマ : 「大阪府臨床工学技士会が目指すブロック制度について」  
参加人数 : 34名  
参加費 : 無料  
実施内容 : ①講演「大阪府臨床工学技士会が目指すブロック制度について」  
講師:ブロック制度準備委員会 担当理事 児玉 健一郎 先生

(6)新型コロナウイルス感染拡大による影響等のため中止した事業等

- ①学術部(呼吸) 2021年度実践呼吸療法セミナー  
②学術部(呼吸) 2021年度ハンズオンセミナー  
③学術部(循環) 循環部門ハンズオンセミナー  
④学術部(ME) MEハンズオンセミナー  
⑤連携推進部(災害対策推進) 災害対策セミナー  
⑥連携推進部(ブロック制度準備) 各地区ブロック勉強会

⑤ 渉外活動報告

- ・公益社団法人日本臨床工学技士会  
・近畿臨床工学技士会連絡協議会  
・チーム医療CE研究会

- ・日本体外循環技術医学会近畿地方会
- ・大阪府赤十字血液センター献血事業協力（2021 年 8 月 29 日、2022 年 1 月 31 日）

⑥ 会員数の報告（2022 年 3 月 31 日現在）

- ・正会員 1,557 名
- ・賛助会員 42 社

## 第2号議案 2021年度収支決算報告

## 貸借対照表

2022年3月31日現在

一般社団法人大阪府臨床工学技士会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	24,952,294	18,767,076	6,185,218
小口現金（事務局長）	13,705	0	13,705
普通預金	24,938,589	18,767,076	6,171,513
関西みらい天王寺総務0555986	207,255	233,644	△ 26,389
関西みらい天王寺記念0556047	2,486,072	1,986,051	500,021
関西みらい天王寺会計用0556172	17,003,149	12,913,825	4,089,324
ゆうちょ銀行	1,847,167	2,082,485	△ 235,318
ゆうちょ銀行振替口座	2,362,095	1,419,763	942,332
紀陽銀行	1,032,851	131,308	901,543
未収金	0	844,591	△ 844,591
前払費用	0	42,440	△ 42,440
流動資産合計	24,952,294	19,654,107	5,298,187
資産合計	24,952,294	19,654,107	5,298,187
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受金	240,000	260,000	△ 20,000
仮受金	0	607	△ 607
流動負債合計	240,000	260,607	△ 20,607
負債合計	240,000	260,607	△ 20,607
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	24,712,294	19,393,500	5,318,794
正味財産合計	24,712,294	19,393,500	5,318,794
負債及び正味財産合計	24,952,294	19,654,107	5,298,187

## 正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般社団法人大阪府臨床工学技士会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[ 8,946,000]	[ 8,377,000]	[ 569,000]
受取入会金	258,000	132,000	126,000
受取年会費	7,868,000	7,445,000	423,000
受取賛助会費	820,000	800,000	20,000
事業収益	[ 8,425,800]	[ 947,000]	[ 7,478,800]
事業収益	1,771,800	947,000	824,800
近畿臨床工学技士会参加費	1,632,000	0	1,632,000
広告収益	( 380,000)	( 0)	( 380,000)
職業体験セミナー	380,000	0	380,000
近畿臨床工学技士会広告収益	4,642,000	0	4,642,000
受取補助金等	[ 293,000]	[ 0]	[ 293,000]
雑収益	[ 7,397]	[ 218,375]	[△ 210,978]
受取利息	197	125	72
雑収益	( 7,200)	( 218,250)	(△ 211,050)
雑収益	0	80,050	△ 80,050
日本臨床工学技士会還付金収益	7,200	138,200	△ 131,000
経常収益計	17,672,197	9,542,375	8,129,822
(2) 経常費用			
事業費	[ 10,568,436]	[ 2,062,998]	[ 8,505,438]
普及啓発に関する事業	( 317,704)	( 36,697)	( 281,007)
職業体験セミナー開催費	290,127	14,760	275,367
男女共同参画事業運営費	18,857	11,797	7,060
技士会説明会開催費	8,720	10,140	△ 1,420
安全対策事業に関する事業	( 38,197)	( 4,920)	( 33,277)
機器安全関連セミナー開催費	38,197	4,920	33,277
刊行物及び調査研究に関する事業	( 934,903)	( 1,365,732)	(△ 430,829)
会誌等刊行物発行費	934,903	1,365,732	△ 430,829
職業倫理の高揚に関する事業	( 0)	( 4,200)	(△ 4,200)
関連セミナー開催費	0	4,200	△ 4,200
学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業	( 7,116,751)	( 367,205)	( 6,749,546)
学術部門別セミナー・勉強会開催費	7,116,751	367,205	6,749,546
地域保健事業への協力に関する事業	( 48,000)	( 44,000)	( 4,000)
日本赤十字献血事業協力費	48,000	44,000	4,000
その他法人の目的を達成するため必要な事業	( 2,112,881)	( 240,244)	( 1,872,637)
総会運営費	59,950	59,754	196
インターネット環境整備費	1,424,086	130,990	1,293,096
法人登記内容変更費用	0	49,500	△ 49,500
代議員制度導入費用	628,845	0	628,845
管理費	[ 1,784,967]	[ 1,787,635]	[△ 2,668]
通信・郵送料	227,950	237,110	△ 9,160

# 正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般社団法人大阪府臨床工学技士会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
事務費	( 827,522)	( 684,745)	( 142,777)
事務用品・消耗品費	119,015	220,064	△ 101,049
支払手数料	276,542	259,572	16,970
システム利用料	431,965	205,109	226,856
業務委託費	500,500	500,500	0
会議費	( 50,315)	( 155,040)	(△) 104,725
理事会費	50,315	111,800	△ 61,485
委員会会議費	0	43,240	△ 43,240
出張費	128,680	160,240	△ 31,560
法人費	50,000	50,000	0
経常費用計	12,353,403	3,850,633	8,502,770
評価損益等調整前当期経常増減額	5,318,794	5,691,742	△ 372,948
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,318,794	5,691,742	△ 372,948
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,318,794	5,691,742	△ 372,948
一般正味財産期首残高	19,393,500	13,701,758	5,691,742
一般正味財産期末残高	24,712,294	19,393,500	5,318,794
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	24,712,294	19,393,500	5,318,794

## 財産目録

2022年3月31日現在

一般社団法人大阪府臨床工学技士会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	13,705
	預金	普通預金	〃	24,938,589
		関西みらい天王寺 総務0555986	〃	207,255
		関西みらい天王寺 記念0556047	記念事業に必要な積立資産として 〃	2,486,072
		関西みらい天王寺 会計用0556172	運転資金として 〃	17,003,149
		ゆうちょ銀行	〃	1,847,167
		ゆうちょ振替口座	〃	2,362,095
		紀陽銀行	〃	1,032,851
流動資産合計				24,952,294
資産合計				24,952,294
(流動負債)				
	前受金	関西みらい天王寺	2021年度の賛助会費の前受分	240,000
流動負債合計				240,000
負債合計				240,000
正味財産				24,712,294





## 監査報告書

2022年4月29日

一般社団法人 大阪府臨床工学技士会  
代表理事 村中 秀樹 殿

一般社団法人 大阪府臨床工学技士会

監事 藤井 宏一   
監事 吉田 靖 

私たち監事は、一般社団法人 大阪府臨床工学技士会の2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び委員等と意思疎通を図り、情報収集及び監査環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び委員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）について検討いたしました。

### 2. 監査意見

#### (1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

### 第3号議案 定款・規則変更の件

当会のよりいっそうの“遵法性の高い会運営”を図ることを目的に、定款・規則の一部変更を行うものです。変更の内容は、次項の通りです。

## 一般社団法人大阪府臨床工学技士会定款 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>(略)</p> <p style="text-align: center;"><b>第 5 章 社員総会</b></p> <p>(略)</p> <p>(開催)</p> <p>第 19 条 定時社員総会は、毎年 1 回毎事業年度終了後 3 ヶ月以内 に開催する。</p> <p>2 臨時社員総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。</p> <p>(1) 理事が必要と認め、理事会に招集の請求をしたとき。</p> <p>(2) 総代議員の議決権の 5 分の 1 以上を有する代議員から、会 議の目的である事項及び招集の理由を記載した書類若しくは 電磁的記録により、招集の請求が理事にあったとき。</p> <p>(3) 前項の規定による請求をした代議員が、裁判所の許可を得 て総会を招集するとき。</p> <p>(招集)</p> <p>第 20 条 社員総会は、前第 3 号の規定により代議員が招集する場合 を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。ただし、会長 に事故があるときは、あらかじめ理事会において定めた理事 が召集する。</p> <p>2 会長は、前条第 2 項第 2 号の規定による請求があったときは、 その日から 6 週間以内に臨時総会を招集しなければならない。</p> <p>3 社員総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事 項を記載した書類若しくは電磁的記録をもって、2 週間前まで に通知しなければならない。</p>	<p>(略)</p> <p style="text-align: center;"><b>第 5 章 社員総会</b></p> <p>(略)</p> <p>(開催)</p> <p>第 19 条 定時社員総会は、毎年 1 回毎事業年度終了後 3 ヶ月以内 に開催する。</p> <p>2 臨時社員総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。</p> <p>(1) 理事が必要と認め、理事会に招集の請求をしたとき。</p> <p>(2) 総代議員の議決権の 5 分の 1 以上を有する代議員から、会 議の目的である事項及び招集の理由を記載した書面によ り、招集の請求が理事にあったとき。</p> <p>(3) 前項の規定による請求をした代議員が、裁判所の許可を得 て総会を招集するとき。</p> <p>(招集)</p> <p>第 20 条 社員総会は、前第 3 号の規定により代議員が招集する場合 を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。ただし、会長 に事故があるときは、あらかじめ理事会において定めた理事 が召集する。</p> <p>2 会長は、前条第 2 項第 2 号の規定による請求があったときは、 その日から 6 週間以内に臨時総会を招集しなければならない。</p> <p>3 社員総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事 項を記載した書面をもって、2 週間前までに通知しなければ ならない。</p>	<p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>

## 一般社団法人大阪府臨床工学技士会定款 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>(略)</p> <p>(議決権の代理・書面による行使)</p> <p>第 24 条 社員総会に出席できない代議員は、他の代議員を代理人として代理出席又はあらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的記録をもって決議することができる。</p> <p>2 代理出席により議決権を行使する場合には、社員総会に出席する者に代理権を授与することを証明する書面を本会に提出しなければならない。</p> <p>3 書面により議決権を行使する場合には、代議員は、社員総会の前日までに必要な事項を記載した議決行使書面を本会に提出しなければならない。</p> <p>4 電磁的方法により議決権を行使する場合には、代議員は、法令で定めることにより、この法人の承諾を得て、前日までに議決権行使書面に記載すべき事項を電磁的方法でこの法人に提出しなければならない。</p> <p>5 前 3 項の規定により行使した議決件数は、出席した代議員の議決権の数に算入する。</p> <p>(略)</p> <p style="text-align: center;">第 6 章 役員等</p> <p>(種類及び定数)</p>	<p>(略)</p> <p>(議決権の代理・書面による行使)</p> <p>第 24 条 社員総会に出席できない代議員は、他の代議員を代理人として代理出席又はあらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法をもって決議することができる。</p> <p>2 代理出席により議決権を行使する場合には、社員総会に出席する者に代理権を授与することを証明する書面を本会に提出しなければならない。</p> <p>3 書面により議決権を行使する場合には、代議員は、社員総会の前日までに必要な事項を記載した議決行使書面を本会に提出しなければならない。</p> <p>4 電磁的方法により議決権を行使する場合には、代議員は、法令で定めることにより、この法人の承諾を得て、前日までに議決権行使書面に記載すべき事項を電磁的方法でこの法人に提出しなければならない。</p> <p>5 前 3 項の規定により行使した議決件数は、出席した代議員の議決権の数に算入する。</p> <p>(略)</p> <p style="text-align: center;">第 6 章 役員等</p> <p>(種類及び定数)</p>	<p>(略)</p> <p>(変更)</p> <p>(略)</p>

## 一般社団法人大阪府臨床工学技士会定款 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>第 27 条 この法人に、次の役員を置く。</p> <p>理事 <u>15 名以上 25 名以内</u></p> <p>監事 2 名以内</p> <p>2 理事のうち、1 名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。また、<u>3 名以内</u>を副会長とする。</p> <p>(略)</p> <p style="text-align: center;"><b>第 7 章 理事会</b></p> <p>(略)</p> <p>(種類及び開催)</p> <p>第 38 条 理事会は、通常理事会及び臨時理事会の 2 種とする。</p> <p>2 通常理事会は、3 箇月に 1 回以上開催する。</p> <p>3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。</p> <p>(1) 会長が必要と認めたとき</p> <p>(2) 会長以外の理事から会長に対し、会議の目的である事項を記載した<u>書類若しくは電磁的記録により、招集の請求が会長</u>にあったとき</p> <p>(3) 前号の請求があった日から 5 日以内に、その請求があった日から 2 週間以内の日を開催日とする理事会の招集の通知が発せられない場合において、その請求をした理事が招集したとき</p> <p>(4) 監事から会長に対し、招集の請求があったとき</p>	<p>第 27 条 この法人に、次の役員を置く。</p> <p>理事 <u>3 名以上 20 名以内</u></p> <p>監事 2 名以内</p> <p>2 理事のうち、1 名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。また、<u>2 名以内</u>を副会長とする。</p> <p>(略)</p> <p style="text-align: center;"><b>第 7 章 理事会</b></p> <p>(略)</p> <p>(種類及び開催)</p> <p>第 38 条 理事会は、通常理事会及び臨時理事会の 2 種とする。</p> <p>2 通常理事会は、3 箇月に 1 回以上開催する。</p> <p>3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。</p> <p>(1) 会長が必要と認めたとき</p> <p>(2) 会長以外の理事から会長に対し、会議の目的である事項を記載した<u>書面</u>をもって会長に招集の請求があったとき</p> <p>(3) 前号の請求があった日から 5 日以内に、その請求があった日から 2 週間以内の日を開催日とする理事会の招集の通知が発せられない場合において、その請求をした理事が招集したとき</p> <p>(4) 監事から会長に対し、招集の請求があったとき</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(変更)</p>

## 一般社団法人大阪府臨床工学技士会定款 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>(招集)</p> <p>第 39 条 理事会は、会長が招集する。ただし、前条第 3 項第 3 号により理事が招集する場合及び法人法第 101 条第 3 項の規定に基づき監事が招集する場合を除く。</p> <p>2 会長は、前条第 3 項第 2 号又は法人法第 101 条第 2 項に該当する場合は、その請求があった日から 5 日以内に、その請求があった日から 2 週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知を発しなければならない。</p> <p>3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面若しくは電磁的記録をもって、開催日の 1 週間前までに各理事及び各監事に対して通知しなければならない。</p>	<p>(招集)</p> <p>第 39 条 理事会は、会長が招集する。ただし、前条第 3 項第 3 号により理事が招集する場合及び法人法第 101 条第 3 項の規定に基づき監事が招集する場合を除く。</p> <p>2 会長は、前条第 3 項第 2 号又は法人法第 101 条第 2 項に該当する場合は、その請求があった日から 5 日以内に、その請求があった日から 2 週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知を発しなければならない。</p> <p>3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的記録をもって、開催日の 1 週間前までに各理事及び各監事に対して通知しなければならない。</p>	(変更)
(略)	(略)	(略)
<p>(決議の省略)</p> <p>第 42 条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案に理事の全員が書面若しくは電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の議決があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。</p>	<p>(決議の省略)</p> <p>第 42 条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案に理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の議決があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。</p>	(変更)
(略)	(略)	(略)

## 一般社団法人大阪府臨床工学技士会定款 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p style="text-align: center;">第 13 章 附 則</p> <p>(略)</p> <p>(施行日)</p> <p>第 60 条 この定款は平成 30 年 3 月 18 日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</p> <p><u>2 この定款変更は 2022 年度定時社員総会の議決を経て、2022 年 6 月 5 日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</u></p> <p>(法令の準拠)</p> <p>第 61 条 本定款に定めのない事項は、すべて法人法その他の法令に従う。</p>	<p style="text-align: center;">第 13 章 附 則</p> <p>(略)</p> <p>(施行日)</p> <p>第 60 条 この定款は平成 30 年 3 月 18 日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</p> <p>(法令の準拠)</p> <p>第 61 条 本定款に定めのない事項は、すべて法人法その他の法令に従う。</p>	<p>(略)</p> <p>(新設)</p>

## 役員選出規則 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>(略)</p> <p>第1章 総則</p> <p>第1条 この規則は、一般社団法人大阪府臨床工学技士会定款第27条に基づき、役員を選任に関する事項を定める。</p> <p>第2条 理事は、正会員の中から選出される理事（以下、内部理事）と臨床工学技士以外の学識者（以下、外部理事）とし、合わせて<u>15名以上25名以内</u>とする。</p> <p>第3条 監事は、正会員の中から選出する監事（以下、内部監事）と臨床工学技士以外の監事（以下、外部監事）とし、合わせて2名以内とする。</p> <p>(略)</p> <p>第5章 役員選挙</p> <p>第13条 内部役員に立候補しようとする者、又は候補者を推薦しようとする者は選挙管理委員会に<u>あらかじめ定められた方法</u>で届け出る。ただし、推薦届けの場合には本人の同意を必要とする。</p> <p>第14条 内部役員選挙の告示は、投票期限の60日前とする。</p> <p>第15条 内部役員に立候補しようとする者は、選挙管理委員会が定めた「立候補届出用紙（以下、届出用紙）」を指定の期間に選挙管理委員会に<u>書類若しくは電磁的記録</u>をもって提出しなければならない。</p>	<p>(略)</p> <p>第1章 総則</p> <p>第1条 この規則は、一般社団法人大阪府臨床工学技士会定款第27条に基づき、役員を選任に関する事項を定める。</p> <p>第2条 理事は、正会員の中から選出される理事（以下、内部理事）と臨床工学技士以外の学識者（以下、外部理事）とし、合わせて<u>3名以上20名以内</u>とする。</p> <p>第3条 監事は、正会員の中から選出する監事（以下、内部監事）と臨床工学技士以外の監事（以下、外部監事）とし、合わせて2名以内とする。</p> <p>(略)</p> <p>第5章 役員選挙</p> <p>第13条 内部役員に立候補しようとする者、又は候補者を推薦しようとする者は選挙管理委員会に<u>文書をもって</u>届け出る。ただし、推薦届けの場合には本人の同意を必要とする。</p> <p>第14条 内部役員選挙の告示は、投票期限の60日前とする。</p> <p>第15条 内部役員に立候補しようとする者は、選挙管理委員会が定めた「立候補届出用紙（以下、届出用紙）」を指定の期間に選挙管理委員会に<u>書面若しくは電磁的方法</u>をもって提出しなければならない。</p>	<p>(略)</p> <p>(変更)</p> <p>(略)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>



## 役員選出規則 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>(略)</p> <p>第7章 異議の申し立て</p> <p>第23条 選挙に関する異議は、公示後14日以内に選挙管理委員会に <u>書類若しくは電磁的記録</u>をもって申し立てることができる。</p> <p>(略)</p> <p>附則</p> <p>1. この規則は、平成21年5月24日より施行する。</p> <p>2. 平成23年度臨時社員総会の議決を経て第2章第4条ならびに第8章第21条を改正し、平成24年3月25日より施行する。</p> <p>3. 改正後のこの規則は、平成30年3月18日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</p> <p>4. 2021年度定時社員総会の議決を経て第5章第14条を改訂し、新たに第15条、第16条、第17条を新設し、2021年6月19日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</p> <p><u>5. 2022年度定時社員総会の議決を経て、2022年6月5日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</u></p>	<p>(略)</p> <p>第7章 異議の申し立て</p> <p>第23条 選挙に関する異議は、公示後14日以内に選挙管理委員会に <u>文書</u>をもって申し立てることができる。</p> <p>(略)</p> <p>附則</p> <p>1. この規則は、平成21年5月24日より施行する。</p> <p>2. 平成23年度臨時社員総会の議決を経て第2章第4条ならびに第8章第21条を改正し、平成24年3月25日より施行する。</p> <p>3. 改正後のこの規則は、平成30年3月18日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</p> <p>4. 2021年度定時社員総会の議決を経て第5章第14条を改訂し、新たに第15条、第16条、第17条を新設し、2021年6月19日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</p>	<p>(略)</p> <p>(変更)</p> <p>(略)</p> <p>(新設)</p>

## 代議員選出規則 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>(略)</p> <p>第5章 代議員選挙</p> <p>第9条 代議員選挙は、立候補制とする。</p> <p>第10条 代議員選挙の告示は、投票期限の 60 日前とする。</p> <p>第11条 代議員に立候補しようとする者は、選挙管理委員会が定めた「立候補届出用紙 (以下、届出用紙)」を指定の期間に選挙管理委員会に<u>あらかじめ定められた方法で届け出なければならない。</u></p> <p>(略)</p> <p>附則</p> <p>1. この規則は、平成 30 年 3 月 18 日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</p> <p>2. 2021 年度定時社員総会の議決を経て第 5 章第 13 条を新設し、2021 年 6 月 19 日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</p> <p><u>3. 2022 年度定時社員総会の議決を経て、2022 年 6 月 5 日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</u></p>	<p>(略)</p> <p>第 5 章 代議員選挙</p> <p>第9条 代議員選挙は、立候補制とする。</p> <p>第10条 代議員選挙の告示は、投票期限の 60 日前とする。</p> <p>第11条 代議員に立候補しようとする者は、選挙管理委員会が定めた「立候補届出用紙 (以下、届出用紙)」を指定の期間に選挙管理委員会に<u>文書をもって提出しなければならない。</u></p> <p>(略)</p> <p>附則</p> <p>1. この規則は、平成 30 年 3 月 18 日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</p> <p>2. 2021 年度定時社員総会の議決を経て第 5 章第 13 条を新設し、2021 年 6 月 19 日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</p>	<p>(略)</p> <p>(変更)</p> <p>(略)</p> <p>(新設)</p>

## 会費納入規則 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>(略)</p> <p>第6条 正会員は特別な事情を除き、<u>当会の指定する方法にて納入するものとする。</u></p> <p>第7条 理事会が特別な事情と認めた場合、正会員は休会措置を受けることができる。この間の会費を免除し休会期間中の会員歴は継続とする。</p> <p>第8条 退会した会員の債務は免除とする。ただし、再入会する場合には、過去の債務を全納しなければ、再入会を拒否することができる。</p> <p>第9条 この規則は、社員総会の議決を経なければ変更することができない。</p> <p>附則</p> <p>1. この規則は、2009年5月24日より施行する。</p> <p>2. この改正規則は、2020年4月1日より施行する。</p> <p>3. <u>この改正規則は、2022年度定時社員総会の議決を経て2022年6月5日開催の社員総会の承認後速やかに施行する。</u></p>	<p>(略)</p> <p>第6条 正会員は特別な事情を除き、<u>会費を会員の指定口座からの自動口座振替によって納入するものとする。</u></p> <p>第7条 理事会が特別な事情と認めた場合、正会員は休会措置を受けることができる。この間の会費を免除し休会期間中の会員歴は継続とする。</p> <p>第8条 退会した会員の債務は免除とする。ただし、再入会する場合には、過去の債務を全納しなければ、再入会を拒否することができる。</p> <p>第9条 この規則は、社員総会の議決を経なければ変更することができない。</p> <p>附則</p> <p>1. この規則は、2009年5月24日より施行する。</p> <p>2. この改正規則は、2020年4月1日より施行する。</p>	<p>(略)</p> <p>(変更)</p> <p>(新設)</p>

## 第4号議案 第8期役員改選の件

任期満了に伴う第8期一般社団法人大阪府臨床工学技士会役員選挙の告示に対して、理事21名、監事2名の方々が立候補されました。

候補者全員の方が被選挙権の規則を満たしておりましたが、第8期理事選出に関しては定款第6章第27条第1項により理事定数20名を超えたため、役員選出規則第5章第15条により正会員による無記名投票を実施し当選されましたので、ここに「第8期内部役員選出選挙」結果を報告いたします。

なお、第8期監事選出に関しては定款第6章第27条第1項により候補者人数が定数の2名を超えなかったため、役員選出規則第5章第17条により無投票にて当選としています。

### 選出理事及び監事一覧表

理事 20名

氏名	会員番号	勤務先
荒川 昌洋	124	りんくう総合医療センター 臨床工学科
泉 暢英	22	日本教育財団 大阪医専 臨床工学学科
井上 晃仁	2	大阪母子医療センター MEセンター
小北 克也	220	特定医療法人仁真会 白鷺病院 臨床工学科
河村 誠司	887	医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 臨床工学室
楠本 繁崇	191	大阪大学医学部附属病院 臨床工学部
熊山 義久	546	パナソニック健康保険組合 松下記念病院 医療機器管理室
児玉 健一郎	506	医療法人宝生会 PL病院 臨床工学技士室
定 亮志	565	大阪市立大学医学部附属病院 中央手術部 医療機器部
杉原 尚枝	1672	社会医療法人彩樹 豊中敬仁会病院
福田 将誉	287	箕面市立病院 臨床工学部
藤江 建朗	679	森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床工学科
前川 正樹	176	おもと会大浜第一病院 診療技術部 臨床工学科
峰松 佑輔	486	大阪大学医学部附属病院 臨床工学部
宮本 哲豪	51	淀川キリスト教病院 臨床工学課
安田 英也	730	春秋会 城山病院 MEセンター
山村 智美	1524	松原徳洲会病院 臨床工学科
山本 桂	255	ベルランド総合病院 診療技術部 臨床工学室
吉田 幸太郎	794	大阪大学医学部附属病院
吉見 隆司	291	松原徳洲会病院 臨床工学科

(五十音順・敬称略)

監事 2名

氏名	会員番号	勤務先
吉田 靖	18	滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科
村中 秀樹	106	社会医療法人生長会 法人本部事務局

(五十音順・敬称略)

## 報告事項

### 1) 2020年度～2025年度 中期事業計画

一般社団法人 大阪府臨床工学技士会  
会長 村中秀樹

我が国においてこれからの10年間は、私達が経験したことのない人口構造であったり、医療・介護における予算配分であったりと既知の職業環境とは全く異なってくることが予想されます。

特に高度最先端医療に関わることの多い臨床工学技士にとっては、今後急速にACP (Advance Care Planning)が進んでいくことと国の誘導によって、高度な治療に抑制がかかることも容易に想像ができ、場合によっては現在の職場環境の縮小や、雇用状況が悪化することも考えられます。

このような状況の中で、我々臨床工学技士が職業としての活躍の場を考えたときに、現在国が強力に推進している医師の働き方改革に伴うタスクシフトや、タスクシェアはもちろろん、職場施設・組織の中での主要ポストの確保、医療施設以外での職業のあり方など選択肢は多岐であればあるほど良いのは言うまでもありません。

ただ、これらを実践し実際に我々のものとするには様々な関門を突破しなくてはなりません。大きなものとしては行政や立法の部分動かす必要があるということです。

技士一人の力は極めて小さいものですが、その力を結集しベクトルを合わせることで大きな力とすることができます。この力とベクトルを合わせるためのツールが技士会です。

我々大阪府臨床工学技士会は2025年度までの間を技士の力を結集する能力を有するための期間と考え、以下の項目について重点的に注力することとします。

#### ◎ブロック制度の推進と各ブロックでの活動の推進

- ・ ブロック毎の勉強会など交流を図れる会合の開催
- ・ ブロック単位での理事や代議員の擁立
- ・ 周知事項など連絡システムの整備

#### ◎会員数を力に変えるため組織力の向上を行う

- ・ アンケート調査等において、多数の協力者数（回答者数）を確保する
- ・ 選挙において有効投票数を現在の2倍以上にする

#### ◎会員の生涯に渡る教育体制を構築する

- ・ 階層別の教育を行う体制を整える
- ・ 中堅層・管理者層向けに、マネジメント能力・問題解決能力向上を行う

#### ◎役員・委員の負担軽減を行い、持続可能な組織運営を行う

- ・ 会議等の効率化を図る（会議時間短縮、回数削減、ICT活用等）
- ・ 組織化の定着と業務・事業担当の適切な分配

## 2) 2022年度 活動方針

今年度も、本会の目的である『大阪府民の福祉、医療の普及発展に寄与する。』を達成するため、会員・代議員・役員が一丸となって会の運営に取り組む。

新型コロナウイルス感染症においては、依然として予断を許さない状況であるが、様々な事業において、ポストコロナ・ウイズコロナを意識した事業活動様式を試みながら活動を行う。

### I. 重点活動方針

#### 1. 技士間の連携強化

- (ア) ブロック制度を推進し、地域の臨床工学技士同士が連携を行える環境を整備する
- (イ) 女性技士の技士会への参画をさらに推進する
- (ウ) 大阪在籍技士の入会者数の増加を目指す
- (エ) 日本臨床工学技士会や近畿臨床工学技士会連絡協議会等との連携を密にし、各地方会をはじめとした関係団体との連携をさらに強化する

#### 2. 各事業における質の向上

- (ア) 職能団体として学術をはじめとした多方面での会員サービスを展開する
- (イ) 資格更新等に必要なポイントを取得しやすいセミナー等を開催する
- (ウ) 教育委員会等とも協力し、優秀な未来の臨床工学技士を育成する
- (エ) さらに会員ニーズに応える運営を行う

#### 3. 健全かつ安定した運営基盤の確立

- (ア) 新入会員の増加を推進し、職能団体としての組織強化を図る
- (イ) 各事業における予算の執行を適切に行う
- (ウ) 定款・規定等については、社会情勢に合わせ柔軟に変更を行い、より会員にとって有用な会の運営を目指す
- (エ) 適切な会計機能を維持する

#### 4. 日本臨床工学会誘致の準備を行う

### II. 昨年度に引き続き、事業展開や実施においては下記の項目を重視する

#### 1. 医療の継続性を追求する

- (ア) 会員や医療職者の安全確保を最優先する
- (イ) あらゆる場面において、自身はもちろん周囲の感染制御に注力する
- (ウ) 施設単位ではなく、地域あるいは大阪府を面で捉えた対策を行う

2. 強く“社会貢献”を意識すること  
(ア) 大阪府の医療体制を継続するため、最大限の協力を行う  
(イ) 職場を離れることがある場合は、必ず職場の理解と協力を得ること
3. 各種イベントの開催については、事業計画に関わらず開催にこだわらないこと  
(ア) 感染管理に注力し、様々な方法を駆使し、また試しながら最善を尽くす  
(イ) 医療の継続性に関わる問題が生じる場合は、延期や中止の判断を行う
4. 他団体主催の学会等への参加についても慎重な判断を行うこと  
(ア) 会員の皆さまにおいては、学会やセミナーの参加について、自身の安全確保に十分留意すること

## 具体的な事業

### 1：臨床工学の普及啓発活動に関すること

新入会員獲得に向けての事業を行う

- ・ 学校への技士会活動の説明会を開催し、新卒者の入会を促進する
- ・ セミナー等開催時に入会特典を使用し、入会を促進する

より積極的に参加いただける技士会活動を行う

- ・ 公益社団法人日本臨床工学技士会の組織委員会と連携する
- ・ 大阪府のブロック制度を展開する
- ・ 各種セミナーやイベントに女性技士が参加し易い環境をつくる

### 2：臨床工学領域における安全対策事業に関すること

医療機器安全管理セミナーを開催する

災害対策に関してのセミナーを開催する

### 3：臨床工学に関する刊行物の発行および調査研究

機関新聞『たより』等の刊行物の発行を行う

### 4：臨床工学に関する助成及び顕彰

公益社団法人日本臨床工学会への拠出金を負担する

近畿臨床工学会への拠出金を負担する

男女共同参画事業に対しての拠出金を負担する

### 5：臨床工学技士の職業倫理の高揚に関すること

生涯教育セミナーを開催する

### 6：臨床工学技士の学術技能の研鑽及び資質の向上に関すること

第32回日本臨床工学会への協力を行う

各種セミナーや講習会等を開催する

職域拡大に関する事業を検討する

教育NEWSの発行を行う

7：関連団体との連帯交流並びに地域保健事業への協力

大阪府健康医療部薬務課をはじめ行政との連携を密にする  
日本赤十字献血事業への協力を続ける

8：その他この法人の目的を達成するために必要な事業

社員総会、理事会等を開催する  
より効率的で会員負担の少ない運営を行う  
ICTを活用し、会員の利便性を高めるとともに会の運営を効率化する  
会の継続性確保のため事務局の負担軽減を図る  
会員への周知方法の充実を行い、有益な情報配信を行う  
記念式典事業のための積立を行う



## 3) 2022年度 収支予算

## 収支予算

2022年4月1日から2023年3月31日まで

一般社団法人大阪府臨床工学技士会

## I. 収入の部

(単位：円)

勘定科目		2022年度予算	2021年度予算	備考
大・中・小科目				
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
	(1) 会費収入	9,785,000	9,121,000	
	① 入会金収入	240,000	200,000	
	② 年会費収入	8,645,000	8,121,000	
	③ 賛助会費収入	900,000	800,000	
	(2) 事業収入	3,931,500	12,611,500	
	① 講習会等参加費	3,591,500	4,001,500	
	② 広告収入	340,000	610,000	
	③ 第27回近畿臨床工学会	-	8,000,000	
	(3) 雑収入	8,170	10,200	
	① 受取利息	170	200	
	② 雑収入	8,000	10,000	
事業活動収入計		13,724,670	21,742,700	

## Ⅱ. 支出の部

(単位：円)

勘定科目		2022年度予算	2021年度予算	備考
大・中・小科目				
2 事業活動収支の部				
2-1 事業活動支出				
	(1) 普及啓発に関する事業	103,000	446,000	
	① 職業体験セミナー開催費	-	340,000	隔年開催
	② 男女共同参画事業運営費	79,000	77,500	
	③ 技士会説明会開催費	24,000	28,500	
	(2) 安全対策事業に関する事業	611,000	527,000	
	① 機器安全関連セミナー開催費	364,000	350,000	
	② 災害対策勉強会開催費	247,000	177,000	
	(3) 刊行物の発行及び調査研究に関する事業	1,020,000	1,000,000	
	① 会誌等刊行物発行費	1,020,000	1,000,000	
	(4) 助成及び顕彰に関する事業	100,000	100,000	
	① 拠出金	100,000	100,000	
	(5) 職業倫理の高揚に関する事業	270,000	110,000	
	① 関連セミナー開催費	270,000	110,000	
	(6) 学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業	2,649,500	11,307,244	
	① 学術部門別セミナー・学術勉強会開催費	2,649,500	3,307,244	
	② 第27回近畿臨床工学会	-	8,000,000	
	(7) 地域保健事業への協力に関する事業	260,000	160,000	
	① 日本赤十字献血事業協力費	260,000	160,000	
	(8) その他法人の目的を達成するために必要な事業	2,930,000	3,551,000	
	① 総会運営費	300,000	300,000	
	② 役員選挙関連費	-	300,000	隔年開催
	③ インターネット環境整備費	600,000	2,300,000	
	④ 法人登記内容変更費用	100,000	-	
	⑤ 代議員選挙関連費	-	300,000	隔年開催
	⑥ 未収金回収費	280,000	351,000	
	⑦ IT活用促進運営費	1,650,000	-	新項目 キャンペーン費用
事業支出合計		7,943,500	17,201,244	
2-2 管理費支出				
	(1) 通信・郵送費	323,570	307,556	
	(2) 事務費	2,707,000	1,254,000	
	① 事務用品・消耗品費	930,000	359,000	
	② 支払手数料	527,000	315,000	
	③ システム利用料	1,250,000	580,000	シクミネット導入
	(3) 業務委託費	500,500	500,500	
	(4) 会議費	369,100	547,400	
	① 理事会費	205,600	205,600	
	② 委員会会議費	163,500	341,800	
	(5) 出張費	761,000	812,000	
	(6) 交際費	50,000	50,000	
	(7) 法人費	70,000	70,000	
	(8) 事業積立金	500,000	500,000	
2-3 予備費支出		500,000	500,000	
管理費支出合計		5,781,170	4,541,456	
事業活動支出合計		13,724,670	21,742,700	

## 4) 第3期代議員改選の件

任期満了に伴う一般社団法人大阪府臨床工学技士会第3期代議員選挙の告示に対して、66名の方々が立候補されました。

なお、第3期代議員選出に関しては、補者人数が代議員の員数70名を超えなかったため、代議員選出規則第2章第2条により無投票にて当選されましたので、ここに「第3期代議員選出選挙」の結果を報告いたします。

### 選出代議員一覧表

代議員 66名

届出順	氏名	会員番号	勤務先
1	河原 俊介	1691	耳原総合病院
2	吉見 隆司	291	松原徳洲会病院
3	安田 英也	730	城山病院
4	峰松 佑輔	486	大阪大学医学部附属病院
5	吉田 靖	18	滋慶医療科学大学
6	濱本 統久	379	三軒病院
7	楠本繁崇	191	大阪大学医学部附属病院
8	定 亮志	565	大阪市立大学医学部附属病院
9	福田 将誉	287	箕面市立病院
10	井上 晃仁	2	大阪母子医療センター
11	安田 栄吉	1573	池田病院
12	児玉 健一郎	506	PL 病院
13	小川 新太郎	661	牧病院／牧整形外科病院
14	岩本 和也	990	岸和田徳洲会病院
15	七野 裕美	778	南大阪病院
16	湊 拓巳	439	市立伊丹病院
17	河村 誠司	887	岸和田徳洲会病院
18	南 茂	1721	大阪大学医学部附属病院
19	松本 優輝	1156	松原徳洲会病院
20	南 伸治	202	堀江やまびこ診療所
21	濱中 康弘	1197	堀江やまびこ診療所
22	熊山 義久	546	大阪医専
23	小北 克也	220	白鷺病院
24	恩地 隆	470	大阪府済生会富田林病院
25	山野 秀仁	1899	野崎徳洲会病院
26	畑中 由佳	750	藍野大学
27	白井 勇希	1224	大阪赤十字病院
28	山村 智美	1524	松原徳洲会病院
29	田中 智之	857	滋慶医療科学大学
30	松村 貴裕	478	吹田徳洲会病院

31	嶋田 凜	1959	松原徳洲会病院
32	橋本 佳典	899	南大阪病院
33	岡本 誠一	878	南大阪病院
34	千川 浩明	648	府中病院
35	塩竈 和也	512	府中病院
36	今川 恵吾	1461	阪和記念病院
37	今村 雅一	626	柏友千代田クリニック
38	内田 勝宏	1491	柏友千代田クリニック
39	松井 智博	541	阪和記念病院
40	吉田 幸太郎	794	大阪大学医学部附属病院
41	石川 由希野	847	なにわ生野病院
42	清水 真一	845	萱島生野病院
43	宮本 哲豪	51	淀川キリスト教病院
44	村中 秀樹	106	生長会法人本部事務局
45	茨田 友香	431	阪南市民病院
46	山本 桂	255	ベルランド総合病院
47	窪田 史子	460	ベルランド総合病院
48	平井 圭	1089	ベルランド総合病院
49	宇留野 達彦	904	大阪大学医学部附属病院
50	北田 裕子	263	淀川キリスト教病院
51	榎本 拓	16	井上病院
52	高田 龍弥	1785	三康病院
53	北村 孝一	732	大阪市立大学医学部附属病院
54	泉 暢英	22	大阪医専
55	杉浦 正人	519	関西医科大学香里病院
56	南部 由喜江	536	大阪ハイテクノロジー専門学校
57	藤田 直大	2053	八尾徳洲会総合病院
58	前川 正樹	176	大浜第一病院
59	田中 勇真	1258	大阪大学医学部附属病院
60	野間 康平	1615	八尾徳洲会総合病院
61	井本 隆之	451	大阪大学医学部附属病院
62	中西 孝次	1807	八尾徳洲会総合病院
63	森田 庸介	1349	りんくう総合医療センター
64	石川 慶	1267	大阪大学医学部附属病院
65	水口 裕梨	902	さかいクリニック
66	藤江 建朗	679	森ノ宮医療大学

(届出順・敬称略)